2026 RACE REPORT

Green Brave

＃52 埼玉 GB GR Supra GT4 EVO2

2026年11月14日（土）～15日（日）

BRIDGESTONE SuperTaikyu JapaneseEnduranceRace ENEOS

ENEOS スーパー耐久シリーズ 2026 Empowered by BRIDGESTONE 第7戦

S耐 FINAL 大感謝祭（4時間レース）富士スピードウェイ（静岡県小山町）

■悪天候のため2周でレース終了。4連覇ならず■

最終戦のレース時間は 4 時間。Green Brave のランキングは 2 位で、トップの＃25 日産 Z とのポイント差は 20 です。Green Brave が優勝した場合の逆転チャンピンの条件は、＃25 日産 Z が 6 位以下。厳しい状況ではありますが、チームは安全第一を念頭に置き、木曜日から練習走行を開始しました。

土曜日（予選日）の天候は曇り。A ドライバーの予選は 15 時 10 分から行われ、ジェントルマンドライバーの松井選手が安定したアタックを見せます。4 周目に 1 分 46 秒 290 をマークし、2 番手につけました。続く B ドライバーの予選は 16 時 10 分から行われ、GB ドライバーの野中選手が 4 周目に 1 分 45 秒 844 のコースレコードをマーク。両ドライバーの合算タイムは 3 分 32 秒 134 となり、予選 2 位を獲得しました。予選 1 位の＃22 ポルシェとのタイム差はわずか 0 秒 008 差。わずかな差でポールポジションを逃した形ですが、ランキングトップの＃25 日産 Z は予選 3 位となっており、最大のライバルの前からスタートすることになりました。

決勝結果（ST-Z クラス）

＃52 埼玉 GB GR Supra GT4 EVO2

（松井宏太／野中誠太／服部尚貴／吉田広樹）

決勝 2 位（2 周、7 分 31 秒 952）

予選：2 位（合算タイム：3 分 32 秒 134）



日曜日（決勝日）の天候は雨。11 時 25 分からスタート進行が始まり、スタートドライバーの吉田選手がグリッドに向かいます。決勝のスタート時刻（12 時半）が近づくにつれ、雨量が増加。セーフティカー（SC）スタートが宣言され、SC 先導により、4 時間の決勝レースが始まりますが、ホームストレートでは大きな水しぶきが上がり、コース上には川ができるなど、危険な状況です。SC による先導が 4 周目に入ったところで赤旗が提示され、レースは中断。全車ピットに戻り、レースの再開を待ちますが、富士スピードウェイからレースの再開は不可能であることがアナウンスされ、2 周で終了となりました。規定により、2 位のハーフポイントが上積みされ、Green Brave の最終ランキングは 2 位。4 連覇は達成できなかったものの、4 年連続で GR Supra 最上位を獲得し、埼玉トヨペットの技術力をアピールしました。

丸山恵介チーム監督



●S 耐第 7 戦について

雨が強かったのでレースが中断となり、残念ながら、そのまま終了になってしまいました。戦ってランキングを決めたかったですが、ディーラーチームとして、安全第一でレースをしなければならないと思っているので、運営側の決断は良かったと思います。長いようで短いシーズンでありましたが、いろいろな歯車が合わないと優勝はできない、チャンピオンも取れないということを再認識したシーズンでした。性能調整に苦しめられた面も多々あったのですが、その中でも精一杯戦ったので、みなさんに喜んでもらえたら良かったと思います。来年は挑戦者として、チャンピオンを追いかける立場として、戦いたいと思います。一年間応援ありがとうございました。

●SUPER GT 第 8 戦欠場について

部品が間に合うかどうか、というのもあったのですが、これだけ短い間隔でアクシデントが発生しているので、しっかり安全を確保するために体制を立て直そうということになり、欠場を選択しました。チームは SUPER GT が行われているもてぎに行き、ピットウォークやグランドフィナーレ、ドライバートークショーに参加し、ファンサービスを行いました。ファンやスポンサーのみなさんに少しでも恩返しができればという思いからで、Green Brave の原点でもあります。

©2026 Saitama Toyopet co.,Ltd All Rights Reserved.

■DRIVERS VOICE

松井宏太選手

中止になり残念です。毎戦毎戦、自分の中で課題を持ち、すごく成長ができた 1 年だと思います。もちろん、富士 24 時間の時のミスも含めて、まだまだ課題はたくさんあると思います。今シーズンのレースでは、すごくいい状況でコースに送り出してもらっていました。その中でも難しい部分はたくさんあったと思いますが、今後の課題ということで頑張りたいと思います。ST-Z のランキング 2 位をとるのは本当に難しいので、チーム力の賜物だと思います。1 年間ありがとうございました。

野中誠太選手

天気ばかりはどうにもならないので、しょうがないと思います。予選ではしっかりスピードを出せたので、中止になり残念です。予選は年間を通して、比較的良い結果だったと思うので、良い経験ができました。今シーズンの GR Supra に対する性能調整は厳しい状況が続いていたので、タイヤ無交換の戦略をとることが多く、難しいレースが続きました。チャンピオンはとれなかったですが、ランキング 2 位は素晴らしい結果だと思います。この悔しさをばねに来年も頑張りたいと思います。

服部尚貴選手

なんとか逆転チャンピオンを狙ってというところでしたが、これだけ過酷なコンディションではどうしようもないですね。外から見ている以上にハイドロプレーニングがすごかったので、レース終了は仕方がないと思います。今シーズンは富士 24 時間と鈴鹿、あの 2 レースを落としてしまったのが結果に響いたと思うのですが、それでも日産 Z に続くランキング 2 位に入りました。来年は挑戦者としてトライできますので、オフの間にみんなで力を合わせて速いクルマを作りたいと思います。

吉田広樹選手

雨量が多く、普通に走っていても挙動が乱れる状況だったので、レースをスタートするのは結構難しい状況だったと思います。コース上に川ができていて、ゆっくり走っていても挙動が乱れるので怖かったです。僕らは今回、追いかける側でした。中止になってしまい、逆転のチャンスがなくなってしまったのは残念ですが、危ないコンディションだったのでしょうがないと思います。全力で戦った結果なので、自分たちがミスした分も含めて、受け入れなければならないと思います。

ST-Z クラス　決勝結果

順位	チーム	周回数
1 位	#22 KOKUSAI GROUP GT4 RS CS（ポルシェ ケイマン GT4 RS CS）	2 周
2 位	**#52 埼玉 GB GR Supra GT4 EVO2（トヨタ GR Supra GT4）**	**2 周**
3 位	#25 日産メカニックチャレンジ Z NISMO GT4（日産 Z NISMO GT4）	2 周
4 位	#20 NANIWA DENSO IMPUL with マツモトキヨシ Z（日産 Z NISMO GT4）	2 周
5 位	#885 シェイドレーシング GR Supra GT4 EVO2（トヨタ GR Supra GT4）	2 周
6 位	#34 TECHNO FIRST R8 LMS GT4（アウディ R8 LMS GT4）	2 周

天候：雨　路面：ウエット　トップ 6 まで（出走 12 台）

ST-Z クラス　ポイントランキング

順位	車番	チーム	ポイント
1 位	25	TEAM ZEROONE	144.5
2 位	52	埼玉 Green Brave	126.75
3 位	34	TECHNO FIRST	105.5
4 位	22	KOKUSAI GROUP SPORTS TEAM	86
5 位	20	チームインパル	73.5
6 位	885	SHADE RACING	71

上位 6 位まで

1 年間応援ありがとうございました

Green Brave PARTNERS

赤城車体工業株式会社

株式会社アルシェ

アルファクラブ武蔵野株式会社

株式会社 FM NACK5

株式会社岡崎巧芸

株式会社カーグラス・JP

埼群スリーボンド株式会社

株式会社三和広告社

JU 埼玉オートオークション株式会社

株式会社西武ライオンズ

株式会社セーフティーライフ

ティーズ・ワークス

株式会社デンソーソリューション

東京キリンビバレッジサービス株式会社

トヨタホーム東京株式会社

トヨタモビリティパーツ株式会社　埼玉支社

富士フイルムビジネスイノベーションジャパン株式会社

マックメカニクスツールズ株式会社

丸和工業株式会社

Mechanix Wear LLC

株式会社リビコー

©2026 Saitama Toyopet co.,Ltd All Rights Reserved.